

算 数 科 学 習 指 導 案

指導者 T1 ○○ ○○
T2 ○○ ○○

1. 日 時 平成20年12月9日(火) 第5校時
2. 場 所 1年○組教室
3. 学年・組 第1学年○組(児童数○○名)
4. 単元名 ものとひとのかず
5. 単元の目標

領域(文章題)

① 関心・意欲・態度

- ・数量の関係をとらえ、演算を決定して立式しようとしたり、個数や順序を数えようとしたりする態度を育てる。

② 数学的な考え方

- ・ある数量を他の数量に置き換えたり、何番目と前にいる人数の関係に気をつけて考えたりできるようにする。

③ 表現・処理

- ・数量の関係をとらえて式に表したり、式を読んだりすることができる。

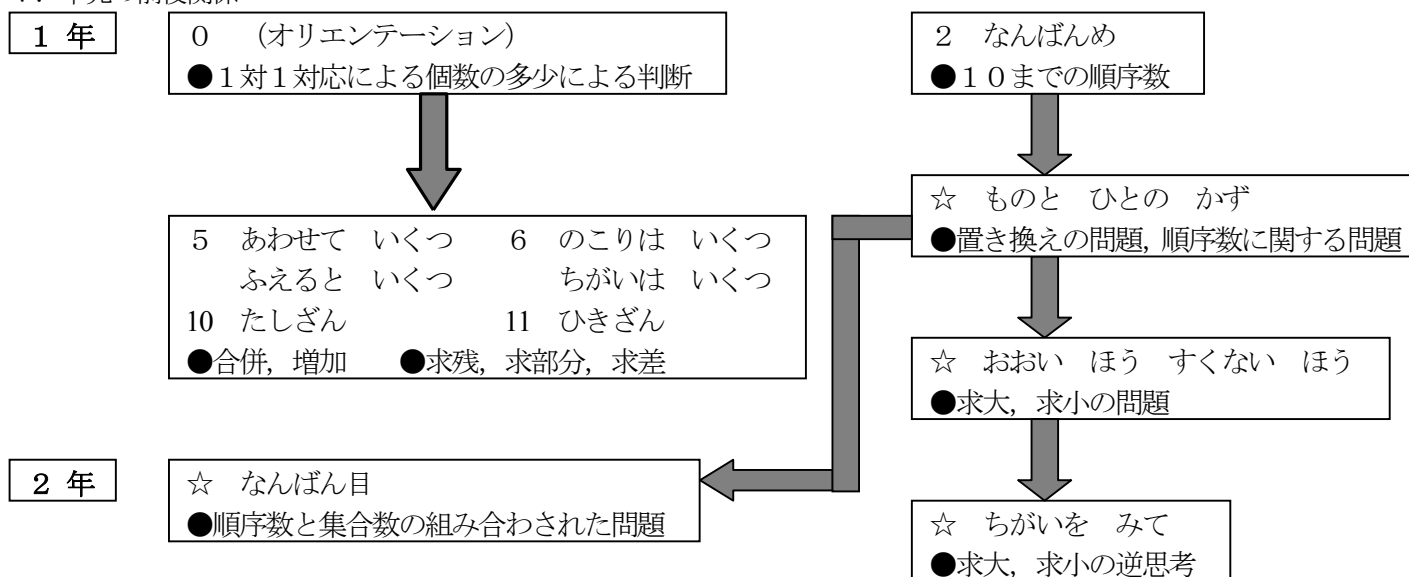
④ 知識・理解

- ・具体的な場面で、個数と順番の関係について理解を深めるようにする。

6. 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現 処理	数量や図形についての 知識・理解
・数量の関係をとらえ、根拠を明らかにして演算を決定しようとしたり、個数や順序を数えようとしたりする。	・ある数量を他の数量に置き換えて考えたり、個数と順番の関係に目を向けて考えたりする。	・ある数量を他の数量に置き換えて、式に表したり、個数や順序を数えたりすることができる。	・ある数量を他の数量に置き換える意味を理解したり、個数と順番の関係を理解したりしている。

7. 単元の前後関係



8. 指導計画（全4時間）

時 間	内 容	評価の重点				評価の視点（方法）
		関	考	表	知	
第1時	○ある数量を他の数量と対比したり，置き換えて考えたりする。 （ひき算の問題）		○			・ある数量を他の数量と対比したり，置き換えて考えたりして考える。（ノートへの記述）
第2時	○ある数量を他の数量と対比したり，置き換えて考えたりする。 （たし算の問題）		○	○		・ある数量を他の数量と対比したり，置き換えて考えたりして考える。（ノートへの記述） ・数量の関係をとらえ，演算決定し，式に表している。（ノートへの記述）
第3時 （本時）	○前からの順番や前に何人いるのかを考えて順序数の問題を解く。		○			・「前から何番目」と「前にいる人数」の関係を○図で表して考えている。（ノートへの記述）
第4時	○ある数量を他の数量と対比したり，置き換えて考えたりする問題や，順序数の問題を解く。	○			○	・数量の関係をとらえ，演算決定し，式に表している。（ノートへの記述） ・具体的な問題場面を○図で表し，問題をとこうとしている。（ノートへの記述）

9. 単元について（ゴシックは本時に関わる内容）

	育てたい力	児童の実態	仕組み
算数への 関心・意欲 ・態度	・ある数量を別の数量に置き換えるよさに気づき，進んで生かそうとする。		・具体物を掲示したり，実演したりすることで学習に意欲を持たせるようにする。
考える力 （自力解決に向けて）	・ある数量を別の数量に置き換えて考えることができる。 ・基準になるものから順番を考えたり，順番からそこまでの個数を考えたりできる。		・具体物や数図ブロックを使って，人と物を1対1対応する操作をしながら，考えるようにする。 ・○図で表現する活動から，問題場面を把握できるようにする。 ・基準になるものを押さえてから，数図ブロックの操作活動や○図をかく活動を取り入れ，前からの順番や前に何人いるのかを，実際に確かめるようにする。 ・数図ブロックの色を使い分けて，答えが導きやすいようにする。
自分の考えを表現する力 （整理しまとめる力）	・○図を使って問題場面を表すことができる。 ・二人組みの活動の中で，自分の考えを話したり聞いたりしながら，自分の考えを明確にすることができる。 ・数図ブロックの操作の仕方を発表することができる。		・二人組の話し合いをすることで，全体の場でも自分の考えを発表できるようにする。 ・問題場面の実演や，ブロックの操作活動をすることで，○図に表すことができるようにする。
確かな力 （学びの定着）	・たし算やひき算の意味の理解を深めることができる。 ・20までの順序数について理解している。		・具体物や実演，数図ブロックの操作を通して，「あわせて」「みんなで」「ちがいは」「のこりは」などの言葉が無くても意味を理解できるようにする。 ・数図ブロックの操作活動や○図で表現する活動を取り入れることで，確かめや説明ができるようにする。

1 0. 本時（第3時）の目標

「前から何番目」と「前にいる人数」の関係を○図で表して考えている。

1 1. 本時の足場

《足場の型》

④導入問題を考え、新しいアイデア、方法を考える。（アイデアや方法を活用して主問題の解き方を考える）

前時までに問題場面の実演から○図を表現し、自力解決につなげる活動に取り組んでいる。そこで、本時の順序の考え方を使って、前の個数から順番を求めたり、順番から前の個数を求めたりする問題でも、実演と○図を手がかりに自力解決につなげていきたい。

1 2. 評価の規準

①概ね満足できる姿（B）

- ・「前から何番目」と「前にいる人数」の関係を○図で表して考えている。

②十分満足できる子どもの姿（A）

- ・「前から何番目」と「前にいる人数」の関係を○図で表して考え、説明することができる。

1 3. 本時の展開

学習過程	学 習 活 動	留 意 点	評価の視点
つかむ	・問題場面を把握する。 もんだい1 (あしば) ひとりずつ じゅんに くるまに のります。 けんたさんの まえに 7にん います。 けんたさんは まえから なんばんめのくるまに のりますか。 ・問題文を読んで、分かっていることや たずねられていることを整理する。 ・「まえ」がどこかを確認して考えさ せる。 ・「なんばんめ」の意味を確認する。 ・「まえに 7にん います」という言葉に 着目させる。 ・問題場面を実演することで、状況をイメ ージしやすくする。 ・実演したことを表す○図を児童と一緒に かくようにする。 まるずをかいて、かんがえましょう。 ・プリントにまる図でかく。 まえ 1 2 3 4 5 6 7 ⑧ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ◎ けんた <u>8ばんめ</u>	・問題文を読んで、分かっていることや たずねられていることを整理する。 ・「まえ」がどこかを確認して考えさ せる。 ・「なんばんめ」の意味を確認する。 ・「まえに 7にん います」という言葉に 着目させる。 ・問題場面を実演することで、状況をイメ ージしやすくする。 ・実演したことを表す○図を児童と一緒に かくようにする。 ・1人で○図がかきにくい児童については 個別に指導する。 ・「前に7にん」から○をいくつかか考 えさせる。 ・けんたさんの場所を見付けさせる。 ・けんたさんの場所にしるしをつけるよう にする。	

ためす (自力解決) 深める (集団解決)	・○図を使ってどのように考えたかを発表し、問題を解く。 もんだい2 ひとりずつ ふねに のっています。 みさきさんは まえから6ばんめの ふねに のっています。みさきさんの まえにはなんにん のっていますか。 ・プリントにまる図でかく。 まえ 1 2 3 4 5 ⑥ ○ ○ ○ ○ ○ ◎ みさき 5にん ・二人組で自分の考えを話す。	・前から順序良く数えて、けんたさんの場所を確かめる。 ・前の人数より1大きい数がけんたさんになることをおさえる。 ・問題文を読んで、分かっていることやたずねられていることを整理する。 ・問題場面を実演することで、状況をイメージし○図に表すことができるようにする。 ・問題1を想起し、「まえから6ばんめ」という言葉に着目できるようにする。 ・前から順番に数えて、答えを出す。 ・みさきさんが6番目なので、その前には1小さい数の人がいることをおさえる。					
生かす	・コース別学習を行い、適応題を解く。	・「しっかりコース」と「どんどんコース」に分かれて学習する。 <table><tr><td>T 1 (どんどん)</td><td>T 2 (しっかり)</td></tr><tr><td>・2問目で、自力解決でき、自信を持てた子どもは、後ろを向いて補充問題に取り組み、自分で丸付けを行う。</td><td>・2問目で間違えた子どもや、自力解決できたが自信が持てない子どもは、前の席に移動し、T 2と共に補充問題に取り組む。</td></tr></table>	T 1 (どんどん)	T 2 (しっかり)	・2問目で、自力解決でき、自信を持てた子どもは、後ろを向いて補充問題に取り組み、自分で丸付けを行う。	・2問目で間違えた子どもや、自力解決できたが自信が持てない子どもは、前の席に移動し、T 2と共に補充問題に取り組む。	「前から何番目」と「前にいる人数」の関係を○図で表して考えている。(考)
T 1 (どんどん)	T 2 (しっかり)						
・2問目で、自力解決でき、自信を持てた子どもは、後ろを向いて補充問題に取り組み、自分で丸付けを行う。	・2問目で間違えた子どもや、自力解決できたが自信が持てない子どもは、前の席に移動し、T 2と共に補充問題に取り組む。						

1 4. 板書計画

ものと ひとの かず
なんばんめ

まるずをかいて、かんがえましょう。

もんだい1 (あしば)

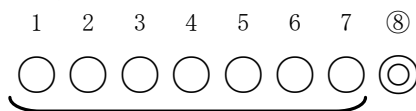
ひとりずつ じゅんに くるまに のります。
けんたさんの まえに 7にん います。
けんたさんは まえから なんばんめの
くるまに のりますか。

もんだい2

ひとりずつ ふねに のっています。
みさきさんは まえから 6ばんめの
ふねに のっています。
みさきさんの まえには なんにん
のっていますか。

まえ

けんた



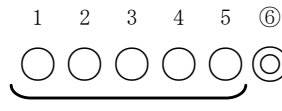
7にん → 8ばんめ

1 大きい

こたえ 8ばんめ

まえ

みさき



5にん ← 6ばんめ

1 ちいさい

こたえ 5にん

15. 評価計画

1年1組	関心・意欲・態度		数学的な考え方				表現・処理		知識・理解	
算数	4	小単元での評価	1	2	3	小単元での評価	2	小単元での評価	4	小単元での評価
【ものごとのつなぎ】	具体的な問題場面を○図で表し、問題をこうとしている。(ノートへの記述)		ある数量を他の数量と対比したり、置き換えたりして考える。(ノートへの記述)	ある数量を他の数量と対比したり、置き換えたりして考える。(ノートへの記述)	「前から何番目」と「前にいる人数」の関係を○図で表して考えている。(ノートへの記述)		数量の関係をとらえ、演算決定し、式に表している。(ノートへの記述)		数量の関係をとらえ、演算決定し、式に表している。(ノートへの記述)	